

日本疼痛学会誌 投稿規定

1. 本誌は、日本疼痛学会の機関誌として、会員相互の知的情報の交流の場を提供し、疼痛研究の発展に寄与することを目的とします。
2. 原著、症例報告など、疼痛に関連した originality に富んだ論文を歓迎します。なお他誌に掲載されたもの、または投稿中のものは御遠慮ください。
3. 日本疼痛学会 (International Association for the Study of Pain, IASP の Japanese chapter を兼ねる) ならびに学会事務局よりの連絡事項が掲載され、会報誌としての役目も果たします。
4. 本誌への投稿は原則として日本疼痛学会の会員に限る(少なくとも senior author と corresponding author)。ただし、編集委員会が特に依頼したものはこの限りではない。
5. 投稿論文の採否は編集委員会で決定致します。このため、本文のほか必ずコピー 2 部を添えて論文を提出してください。ただし、写真は各々 3 組を用意してください。審査の結果、不採用の論文は速やかに返送致します。場合により原稿の一部改正を求めるか、または編集委員の責任において訂正することがあります。
6. 論文の長さは下記の通りとし、原稿枚数は文献を含んだ計算とします。

《原著》《総説》
本文・文献 400 字詰原稿用紙 20 枚以内
写真・図・表 8 個以内

《症例報告》
本文・文献 400 字詰原稿用紙 15 枚以内
写真・図・表 6 個以内

《短報》
本文・文献 400 字詰原稿用紙 5 枚以内
写真・図・表 2 個以内

写真・図・表が増加した場合は、通常原稿枚数を減じて調整してください。できあがり寸法 9 × 7.5 cm が原稿用紙 1 枚に相当します。
7. 論文の掲載料は上記所定の枚数以内であれば無料です。原著か症例報告かの判断および超過論文の採否は編集委員会に一任してください。超過料金に関しては著者の実費負担とします。
8. 原稿は 400 字詰原稿用紙に左横書、専門用語以外は常用漢字、現代かなづかい(平かな)を用い、楷書体で平易明瞭に、句読点は正確にお書きください。
9. 文献、人名、薬品名、地名は原語を用い、ドイツ語および固有名詞以外は小文字とします。外国語はタイプライターを使用するか、活字体でお書きください。ただし、日本語化しているものはカタカナとします。
10. 数字は算用数字を用い、度量衡単位は CGS 単位で、m, cm, mm, cm², l, dl, ml, kg, g, mg, hr, min, sec, msec などとってください。
11. 表題、著者名、所属は和英併記、筆頭著者の住所(連絡先)および別刷請求先を明記してください。
12. 英文抄録 (Abstract) を必ず添えてください。ダブルスペースでタイプし、長さは、原著で 500 語(余白も含め 2,500 文字)、症例・短報で 300 語(同じく 1,500 文字)以内とします。5 個以内の索引用「見出し語」(Key words) を Index Medicus または Pain (IASP 機関誌) に則して英(または羅)語で指定してください。また、英文の running head (60 字以内) を添えてください。
13. 図・表の説明はすべて英文表記とし、ダブルスペースでタイプしてください。図説明は別紙にまとめてください。図・表は、1 枚ずつ別の原稿用紙に貼付し、この挿入箇所は、本文原稿用紙の欄外に Fig. 1, Table 1 などと朱書してください。組み写真はできるだけサイズの統一をはかり、Fig. 1A, B……などと区別をつけること。図・写真は鮮明であること。図は墨入れた原図とそのコピー 2 組、もしくは写真印画各々 3 組を提出してください。図の墨入れが必要な場合は、別途料金を申し受けることがあります。

写真の大きさは、できればキャビネ大にしてください。著者による縮寸・トリミングなどのサイズ指定は自由ですが、決定は編集委員会に一任ください。光顕写真には染色方法と倍率を

付記し、電顕写真にはバーを入れてください。写真に文字や矢印を記入する場合は、トレーシングペーパーをかけた上に明記してください。なお、被写体の人格権は尊重してください。

例外として、カラー写真での掲載を希望される場合は、必要最小限の枚数とし、また費用は著者の実費負担とします。なお、組み写真において4枚以上となる場合には原則として偶数枚数となるよう御協力ください。

他誌、単行本の図・表などを、そのままもしくは修正を加えて引用するときは、原則として著作権規定に照らした引用許可が必要です。また、出典もしくは許可のある旨を、図表説明に英文で明記してください。出版者および著者から得た許可証は原稿に添えて提出してください。なお著作権規定、または引用許可に関する詳細は、編集委員会にお問い合わせください。

14. 文献の記載は次の形式を守ってください。

イ) 本文ならびに図表に引用されたもののみをあげてください。記載順序は著者名のアルファベット順とし、同一著者の場合は発表順とします。本文中の引用箇所には肩番号を付して照合してください。

ロ) 雑誌の場合：著者氏名(全員)、題名、誌名、巻、発行年(西暦)、頁(初めと終わりの頁)。本邦のものは医学中央雑誌の収録雑誌略名表により、外国のものは Index Medicus による略名をお使いください。

書籍の場合：著者氏名(全員)、書名、発行所、発行地、発行年、総頁数、あるいは著者氏名(全員)、題名、編集者名(全員)、書名、発行所、発行地、発行年、頁(初めと終わりの頁)。

[例]

- 1) Adams, C.W.M., Neurohistochemistry, Elsevier, Amsterdam, 1965, 67pp.
- 2) Chin, J., Killam, E.V., Killam, E.F., Factors affecting sensory input in the cat: modification of

evoked auditory potentials by reticular formation, Electroenceph. Clin. Neurophysiol., 18 (1956) 567-574.

- 3) Linderoth, B., Meyerson, B.A., Spinal cord stimulation: Mechanisms of action, In: K. Burchiel (Ed.), Surgical Management of Pain, Thieme, New York・Stuttgart, 2002, pp505-526.
15. 読者の掲載論文に対する意見、質疑に関する著者の回答欄を設けます。論旨を明確に1,600字以内にまとめ、編集委員会へお寄せください。
16. 著者校正は1回のみ行います。著者校正後も、英文抄録、図表説明などについては、その一部修正を編集委員会の責任において行うことがあります。

別刷は有料です。希望部数を、校正刷返送のときにお申込みください。なお、お申込みは50部単位とさせていただきます。

論文のPDFファイルは、別刷をお申込みいただいた場合に限り、無料でご添付いたします。

17. 本誌に印刷された論文(図・表を含む)の著作権および出版権は、日本疼痛学会機関誌編集委員会に帰属し、そのままもしくは修正を加えた引用、転載には事前許諾が必要です。あらかじめ御承知ください。
18. 論文受理が決定後、最終原稿(プリントアウト)2通とその最終データを記録したメディアを送付してください。その際、メディアには論文タイトル、筆頭著者名を明記してください。

原稿送付先

原稿は下記宛、書留郵便にてお送りください。

お問い合わせ先も同じです。

順天堂大学医学部

麻酔科学・ペインクリニック講座

日本疼痛学会編集部

〒113-8431 東京都文京区本郷 3-1-3

Tel. 03-3813-3111 (代表)

Fax. 03-5800-5572 (直通)